

KCスタンドフォーム〈FRC製埋設型枠〉

FRC NETIS掲載終了
QS-110041-VE

コンクリート付着面にポリエステル・ビニロン繊維を配置。現場打ちコンクリートとの付着力を向上し「KCフォーム」の縦使いを実現しました。



●特長

1. 抜群の付着力

コンクリート付着面にポリエステル・ビニロン繊維を配置。現場打ちコンクリートと強固に付着します。また、ガラス繊維の補強により、高い曲げ強度と耐衝撃性があります。

2. 耐摩耗性、耐中性化

特殊混和材を使用しているKCスタンドフォームは、表面が緻密で一般のコンクリートより耐摩耗性、耐中性化に優れています。

3. 施工性と加工の自由度

大きさを自由にカットできるメリットを活かし、専用の連結金具との併用で、現場加工での自由なコンクリートブロックが成型可能になります。高い場所への設置や、縦型での使用など通常の型枠工法では手間のかかる設置も、現場でのカットが可能のため自在に型枠が組めます。



施工手順

大型標識基礎への使用例



①掘削後敷砂

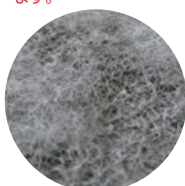


②KCスタンドフォーム据付け



③型枠レベル調整

製品が乾燥していると、生コンの水分を吸水してしまい十分な付着が得られない場合があります。



▲打設面拡大



④コンクリート付着面加湿



⑤生コン打設。周辺埋戻し。



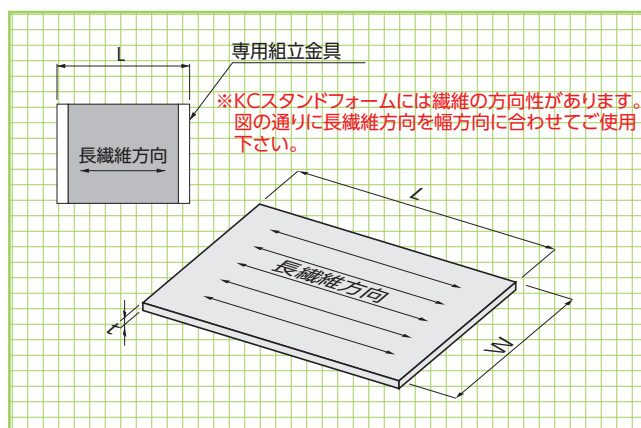
⑥所定高さまで打設。埋戻し・養生。

基本形状図

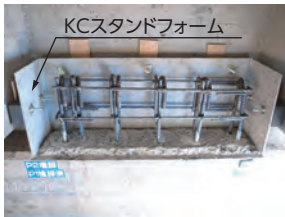
形状・寸法
重量表

■寸法・重量表

寸法(mm)			参考重量 (kg)
W	t	L	
910	6	500	5.9
910	6	1000	11.7
910	6	2000	23.5
910	8	500	7.8
910	8	1000	15.7
910	8	2000	31.3
910	10	500	9.8
910	10	1000	19.6
910	10	2000	39.1



落橋防止装置の埋設型枠として



各種施工例

擁壁類

河川関連

道路関連

管渠類

側溝類

貯水槽関連

組合製品

景觀関連

基礎類・その他

河川の現場打堰堤工

組立・漏洩防止シート設置



水中コンクリート打設



砂防堰堤目地部埋設型杵工法

○従来の合材を使用する工法のように左右別々に構築していくのではなく、1段ずつ同時に打ち上げて工期を短縮。

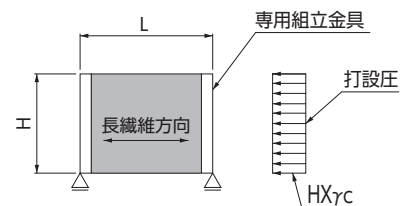


型組状況
支保材はアングル(既製品)を使用。
背面のサポート筋と溶接して固定。



生コンは交互に打設。
生コン圧を打ち消しあい、補強を最低限に抑えます。

KCスタンドフォーム 適用早見表

[illegible]

【設計条件】

- GRCの弾性係数
Egrc = $2.00 \times 10^7 \text{ kN/m}^2$
- 打設生コンの単位体積重量
 $\gamma_c = 23 \text{ kN/m}^3$

【使用上の注意事項】

- 適用範囲は安全率を考慮しておりますが、不測の荷重（落下・振動機接触などの衝撃）により製品にクラックが発生する場合があります。
- コンクリート打設時・締固め作業時や資材運搬の際は、十分ご注意ください。
- KCスタンドフォームには繊維の方向性があります。図の通りに長繊維方向を幅方向に合わせてください。